

名古屋市と福岡市における人口吸引力の比較

一般社団法人中部経済連合会調査部 主任 中島 桐生

* プロフィール

2018年3月 岐阜大学地域科学部卒業

2018年4月 株式会社十六銀行入行

2024年4月 一般社団法人中部経済連合会 調査部主任（出向）

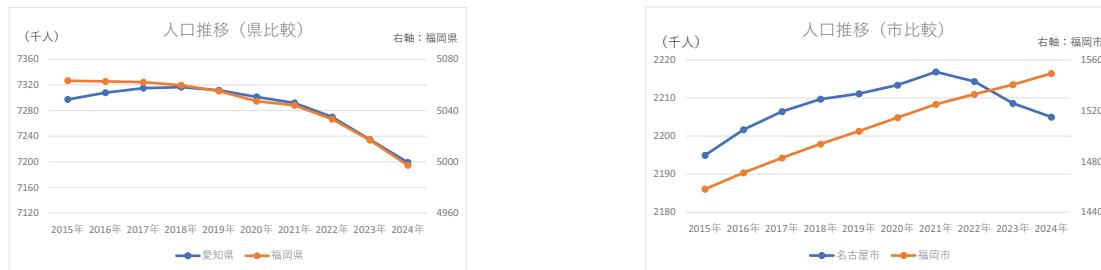
これまで中部経済連合会が発行してきた経済調査月報の特集では中部圏の人口流出に対し、さまざまな観点で整理し、その対応の方向性について提言してきた。本レポートでは、中部圏の中核都市である名古屋市と、福岡県の中核都市である福岡市に着目していく。福岡市は名古屋市と違い、首都圏から遠く、アジアに近いという地理的な特性に加え、両市の比較により見えてくる課題と、それを受けた中核都市が取り組むべき方向性について4つの仮説を立てて考察していく。

1. 名古屋市、福岡市の人団の現状と見通し

愛知県、福岡県ともに人口減少傾向にあり、2024年1月1日時点の日本人人口では、愛知県で7,199千人、福岡県で4,998千人と、両県の間には約1.4倍の人口差がある。一方、名古屋市と福岡市で比較すると、名古屋市では2021年の2,217千

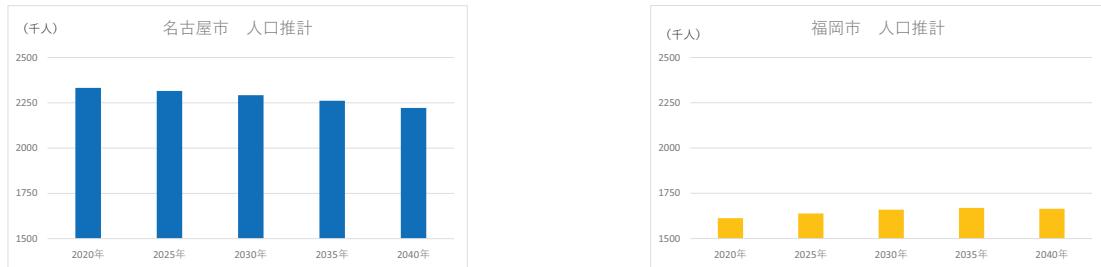
人をピークに減少を続ける一方、福岡市では人口増加が続いている。2024年は、名古屋市で2,205千人、福岡市で1,550千人と、県の人口同様約1.4倍の人口差となっている。

図表1 人口推移（日本人のみ）



（出所）総務省：「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」をもとに本会作成

図表2 人口推計（外国人含む）



（出所）国立社会保障・人口問題研究所：「将来の地域別男女5歳階級別人口」をもとに本会作成

(※1) 経済調査月報（2025年7月） <https://www.chukeiren.or.jp/news/p25176/>

2. 福岡市の人団増加の要因について

自然増減に着目すると、名古屋市は2013年から10年ほど自然減が続いているのに対し、福岡市は自然減へ転じたのは2021年からとなっている。社会増減に関しては、名古屋市、福岡市ともに社会増の傾向にあるが、福岡市の方がその勢いは旺盛であるとうかがえる。

また、2019年1月時点の人口構成（図表4）に

注目すると、20～39歳の男性100人に対する女性数は、愛知県をはじめ中部圏では全国平均を下回っているのに対し、福岡県をはじめとした九州各県は、全国平均を上回る地域が多い。特に、愛知県では20～39歳男性100人に対する女性は90.1人と男性の方が多い地域である一方、福岡県では同102.2人と、女性が多い地域であることが分かる。

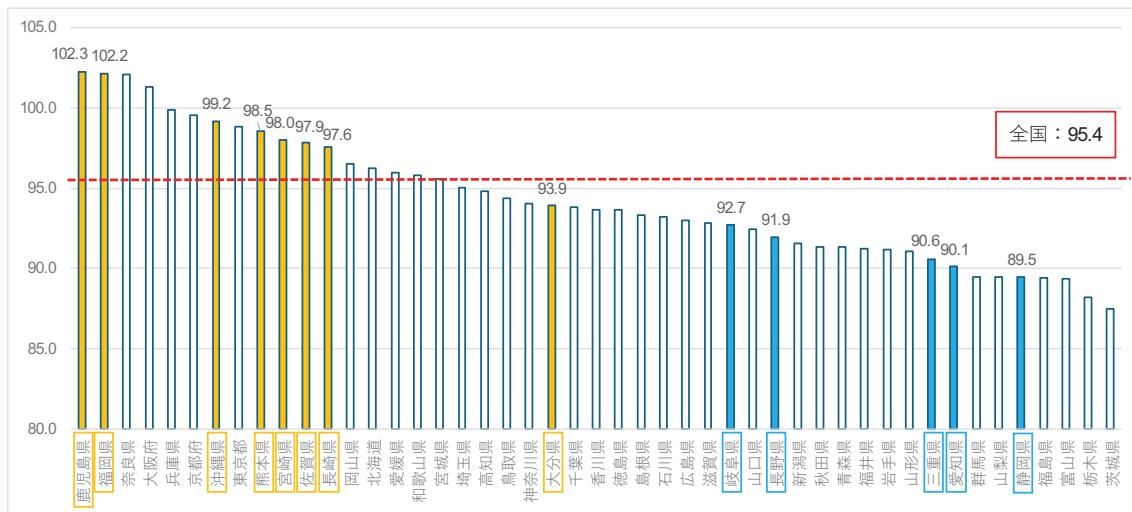
図表3 人口動態（外国人含む）



（出所）名古屋市：「令和6年 愛知県人口動向調査結果（名古屋市分）」（各年前年10月～当該年9月）

福岡市：「福岡市統計書（2023年版）」（各年1月～12月）をもとに本会作成

図表4 20～39歳の男性100人に対する同世代の女性数（都道府県別）



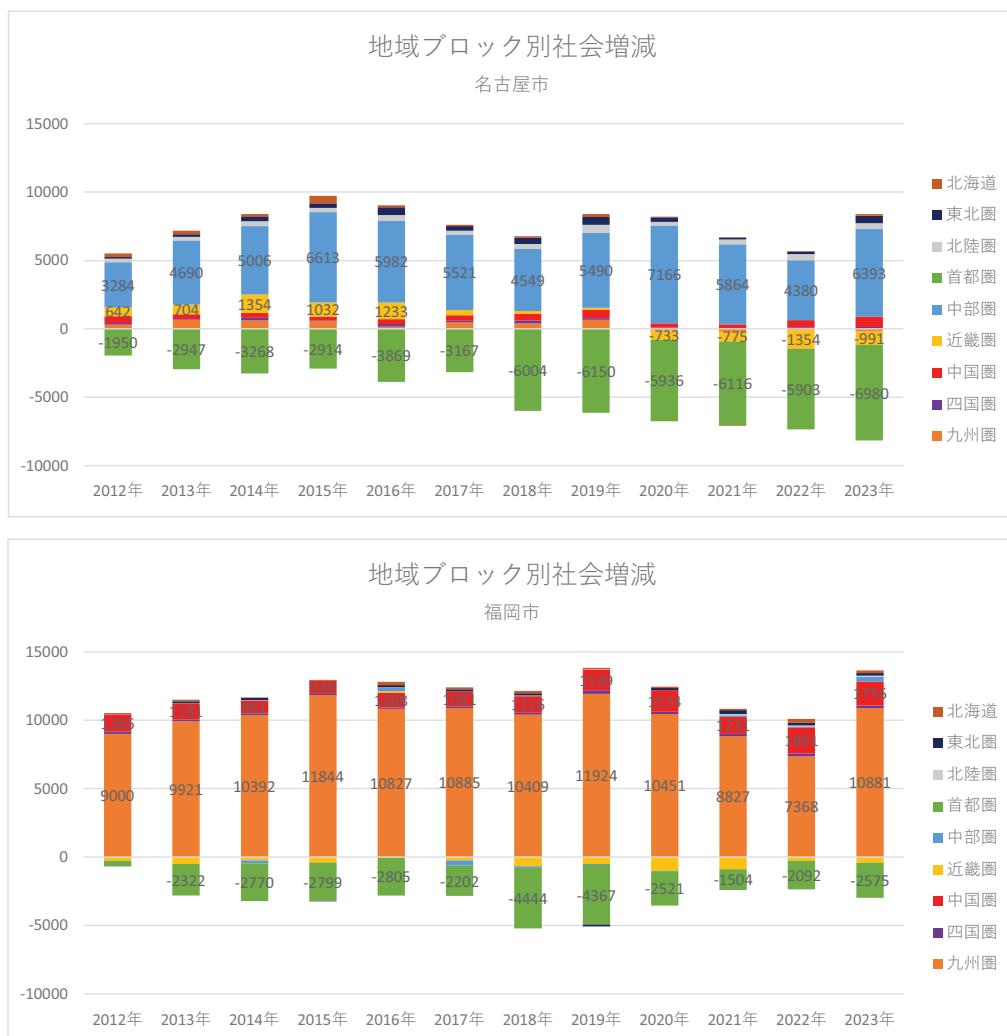
（出所）総務省：「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」をもとに本会作成

3. 社会増減の内訳について

福岡市の人口増加は、主に社会増に支えられていることが分かったが、ここでは、社会増減について細かく見ていく。地域ブロック別では、名古屋市では、中部圏各県からの流入しているものの、首都圏への流出がそれを上回る傾向にある。一方、

福岡市では、九州圏各県からの流入が中心であり、首都圏への流出は名古屋市と比べ少ない。東京圏から遠いという地理的な特性もあり、福岡市では人口のダム機能が働いているとうかがえる。

図表5 地域ブロック別 社会増減



地 方	都 道 府 県
北 海 道	北海道
東 北 圏	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県
首 都 圏	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県
北 陸 圏	富山県、石川県、福井県
中 部 圏	長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近 畿 圏	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山县
中 国 圏	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四 国 圏	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九 州 圏	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

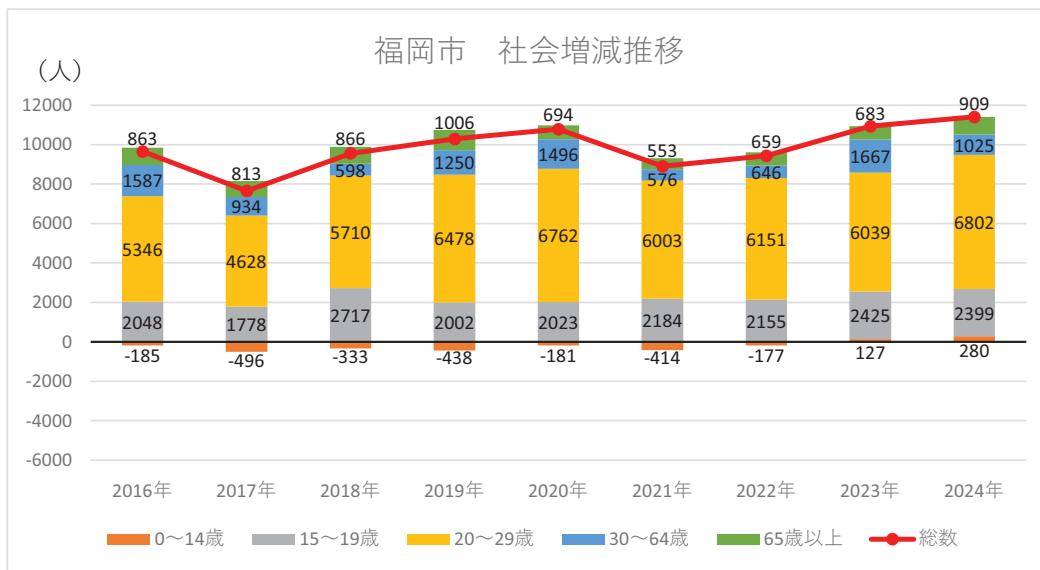
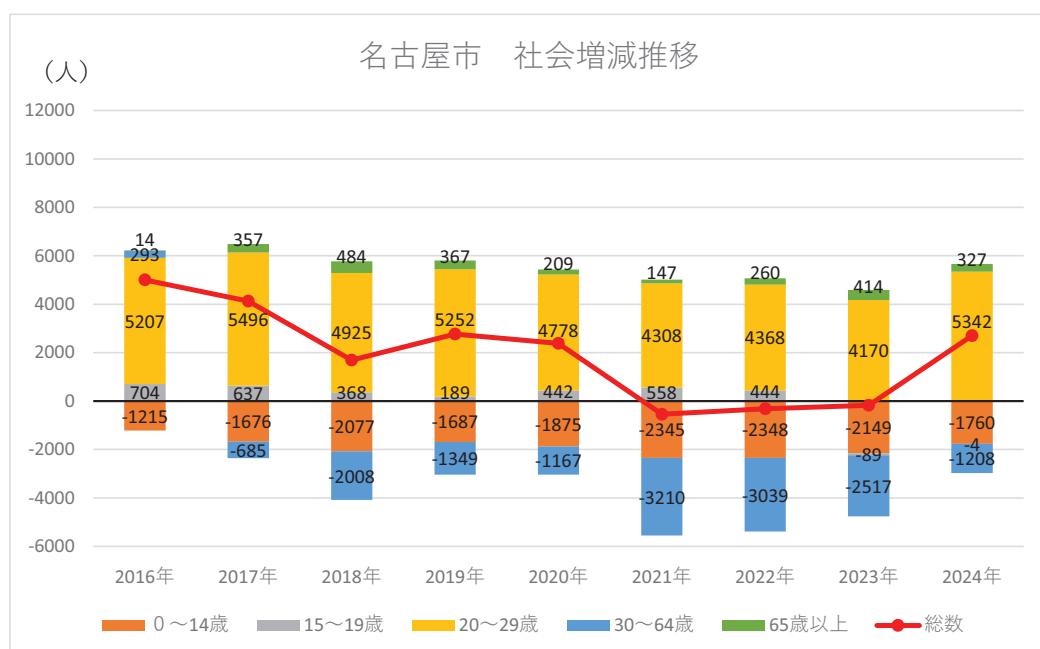
(出所) 「RESAS (地域経済分析システム) -社会増減分析-」をもとに本会作成

年齢階級別の社会増減をみると、足元では名古屋市で「20～29歳」を中心に社会増となっているが、「0～14歳」「30～64歳」の層で社会減であり、総数では2,697人の社会増と、コロナ禍以前の水準までは回復していない。福岡市では、「20～29

歳」を中心に全世代で社会増となっており、足元総数では11,026人となっている。

また、「15～19歳」「20～29歳」の若年層の社会増の数は福岡市の方が上回っており、福岡市は若年層を引き寄せる地域であることがうかがえる。

図表6 年齢階級別 社会増減（日本人）



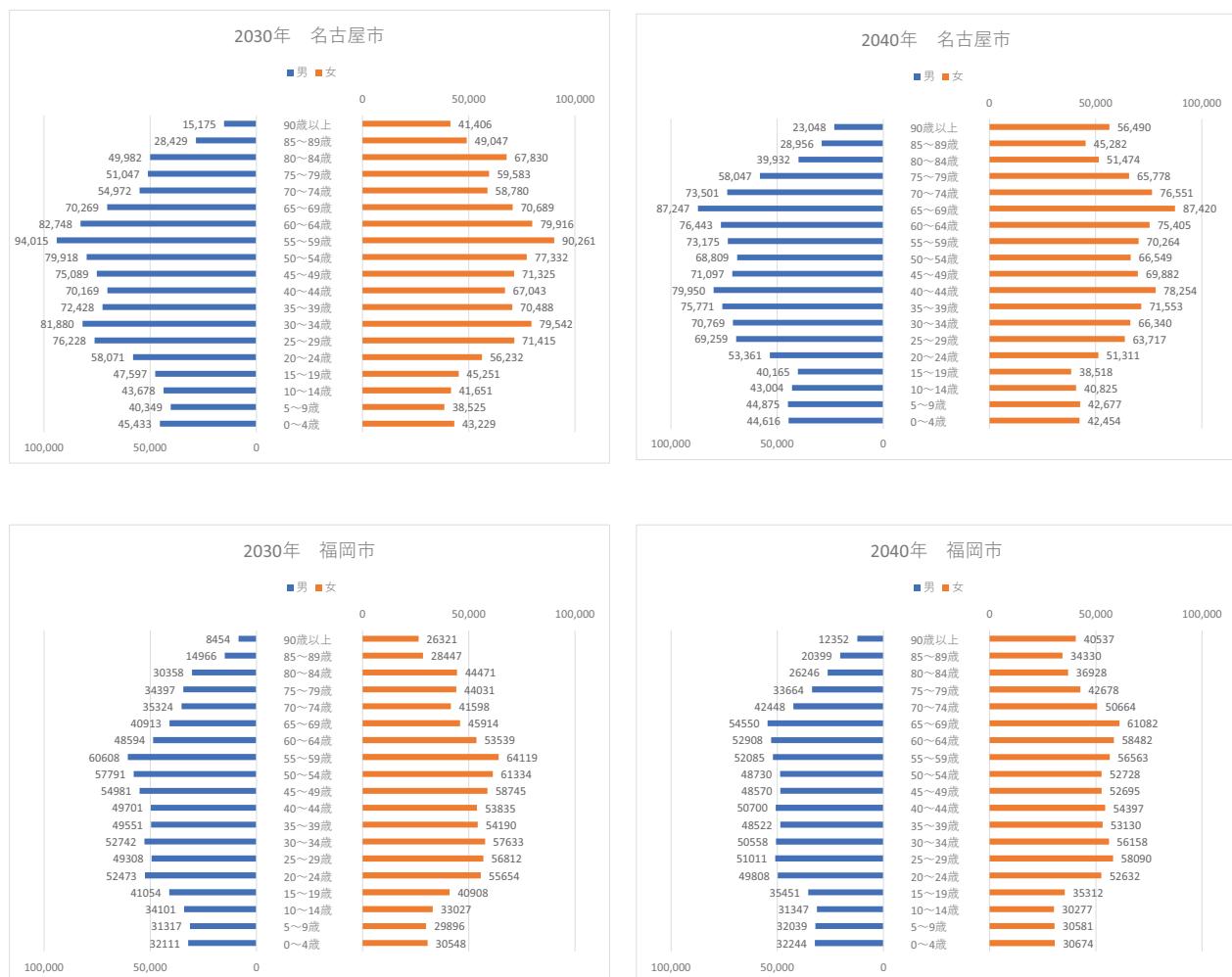
(出所) 名古屋市：「愛知県人口動向調査（名古屋市分）」
福岡市：「福岡県人口移動調査」をもとに本会作成
各年 前年10月～当該年9月の社会増減数

4. 将来の人口構成

人口問題研究所の人口推計によれば、2040年の人口ピラミッドにおいて、名古屋市の高齢化率（総人口における65歳以上人口が占める割合）は

30.4%に対し、福岡市は27.4%と、相対的に若者が多い地域になると見込まれる。

図表7 将来人口推計ピラミッド



(出所) 国立社会保障・人口問題研究所：「将来の地域別男女5歳階級別人口」をもとに本会作成

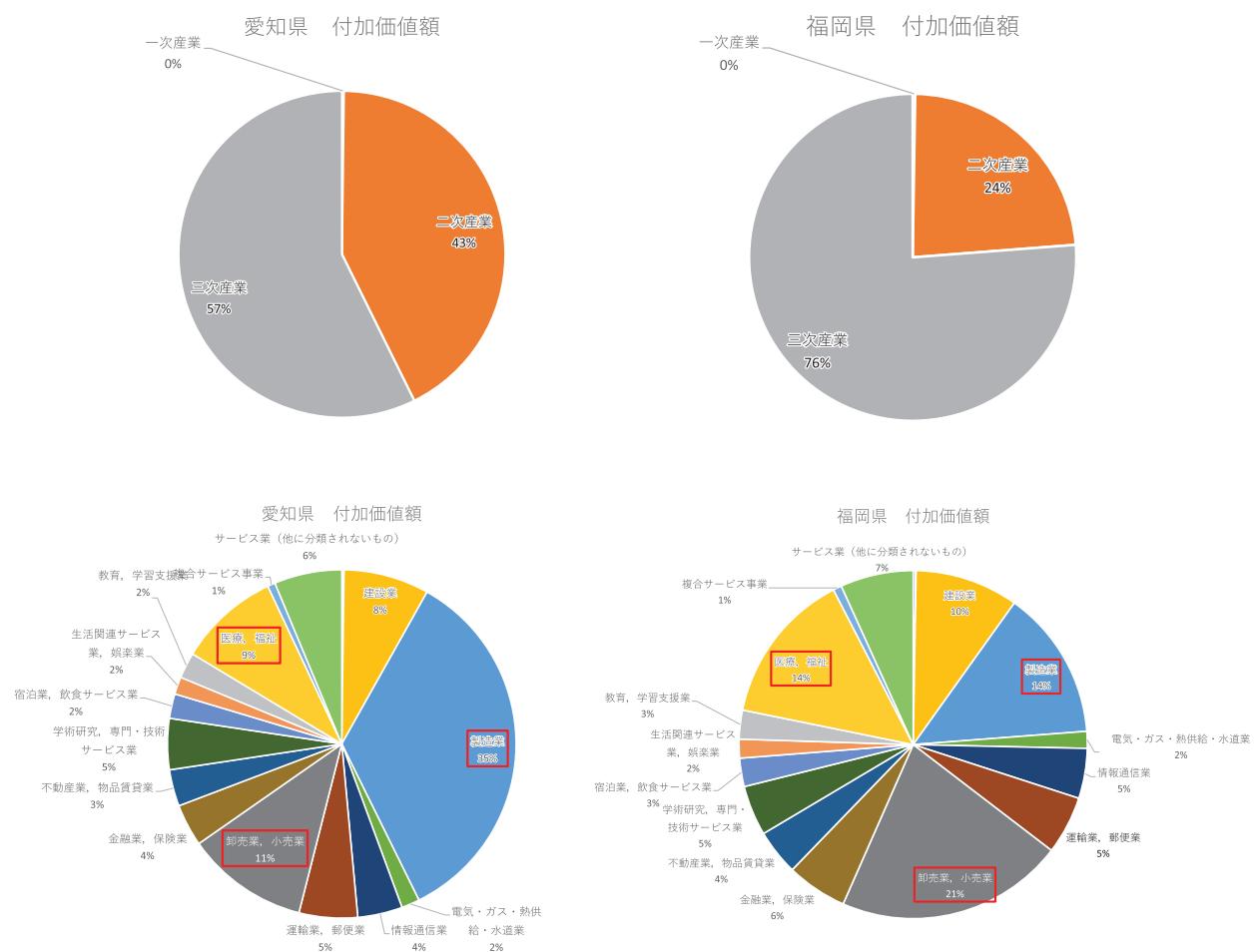
5. 名古屋市と福岡市において人口吸引力の違いが生まれる要因

仮説① 女性にとって働きやすい職場が多い

愛知県と福岡県の産業を付加価値額の割合でみると、愛知県の主力は第二次産業（43%）であり、特に製造業（うち35%）が大きな比重を占めている。福岡県を見ると、第三次産業が主力（76%）であり、中でも小売・卸売業（うち21%）や医療・

福祉業（うち14%）が多い。女性にとって働きやすい職場が福岡県には集積しており、女性の人口吸引力に差が生じていると推察される。一方で、男性にとって魅力的な職場が少ないという声も聞かれた。

図表8 産業割合（2021年）



（出所）「令和3年経済センサス・活動調査 事業所に関する集計－産業横断的集計－」をもとに本会作成

図表9 2025年卒の就活生が選考を受けた業界ランキング（全国）

順位	文系男子（業界名）	順位	文系女子（業界名）
1	ソフトウェア・情報処理・ネット関連	1	ソフトウェア・情報処理・ネット関連
2	銀行・証券	2	銀行・証券
3	食品・農林・水産	3	人材サービス（派遣・紹介）
3	人材サービス（派遣・紹介）	4	食品・農林・水産
5	クレジット・信販・リース	5	広告・芸能
6	生保・損保	6	住宅・インテリア
6	コンサルティング・調査	7	通信
8	住宅・インテリア	8	ホテル・旅行
8	不動産	9	放送・新聞・出版
10	電子・電気機器	10	専門商社

順位	理系男子（業界名）	順位	理系女子（業界名）
1	ソフトウェア・情報処理・ネット関連	1	薬品・化粧品
2	電子・電気機器	2	食品・農林・水産
3	繊維・化学・ゴム・ガラス・セラミック	3	ソフトウェア・情報処理・ネット関連
4	自動車・輸送用機器	4	繊維・化学・ゴム・ガラス・セラミック
5	機械・プラント	5	医療・調剤薬局
6	精密・医療機器	6	電子・電気機器
7	通信	7	精密・医療機器
8	薬品・医薬品	8	コンサルティング・調査
9	電力・ガス・エネルギー	9	建設・設備工事
10	建設・設備工事	10	住宅・インテリア

(出所) マイナビキャリアサポート
https://mcs.mynavi.jp/column/2022/12/popular_industry_ranking/

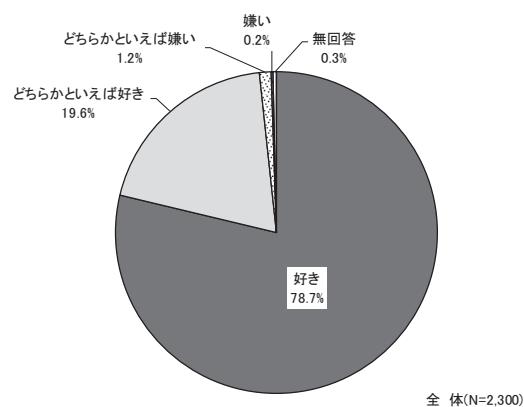
仮説② シビックプライドの度合い（違い）

名古屋市と福岡市の市政調査の結果を見ると、それぞれの市が好き（愛着がある）かという質問に対して、福岡市では「好き」および「どちらかといえば好き」を合わせた回答割合が98.3%であり、そのうち「好き」と答えた割合は78.7%となっている。一方、名古屋市は「愛着を感じている」と「どちらかといえば感じている」を合わせた回答割合は83.7%となっている。そのうち「愛着を感じている」と答えた割合は36.7%であった。

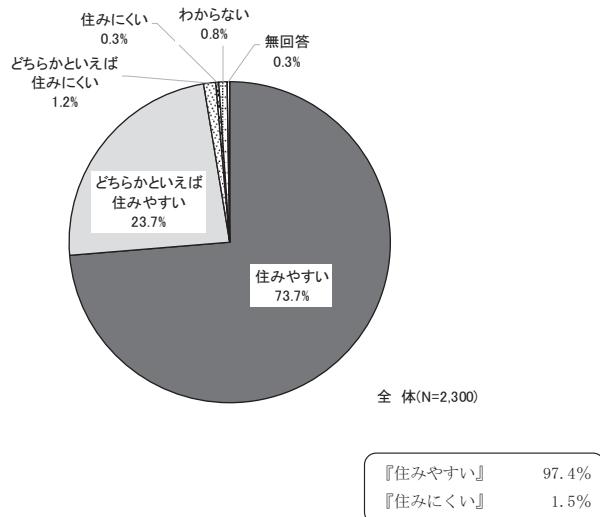
福岡市の回答では、「好き」や「住みやすい」等、積極的な肯定が多く、名古屋市は「どちらかといえば（愛着を）感じている」や「どちらかといえば住みやすい」等、消極的な肯定が目立つ結果となっている。名古屋市では、東京と比べ地価・賃料等も安く商業施設も多い。今後は、名古屋市の魅力を自信を持って発信できる機運を高めていくことで、シビックプライドが醸成されることが期待される。

図表10 福岡市・名古屋市に対する愛着

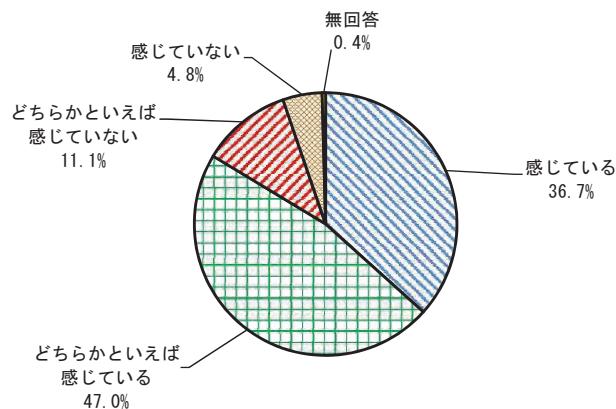
図表 福岡市が好きか【全体】



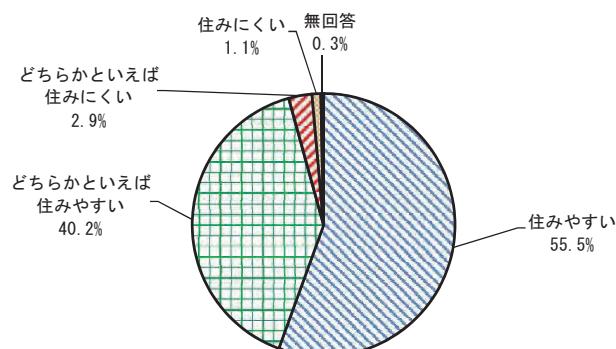
図表 福岡市は住みやすいと思うか【全体】



図表 名古屋市に愛着を感じていますか



図表 名古屋が住みやすいと思いますか



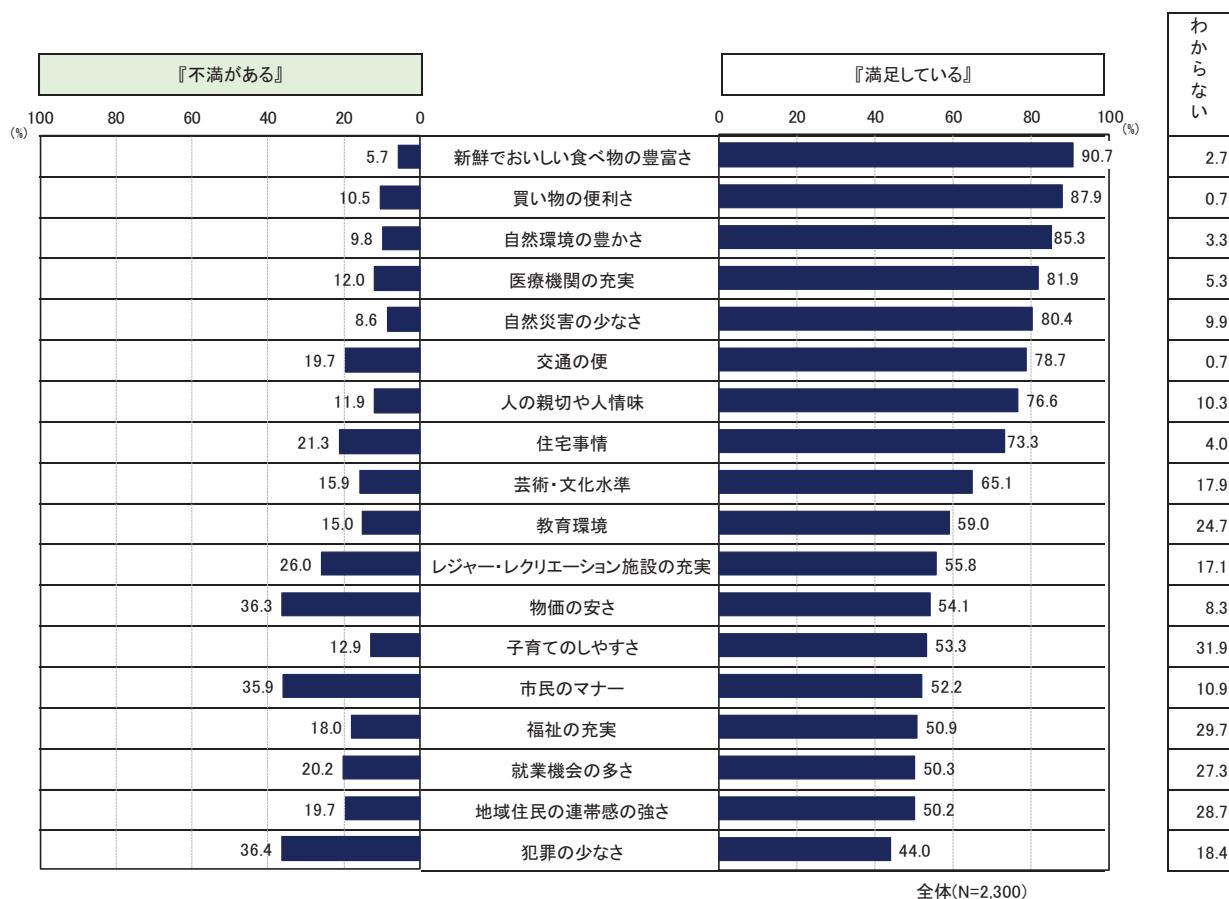
都市環境に関する満足度において、住む場所に関する項目では、「住宅事情」で「満足している」(=「満足」+「どちらかというと満足」)と回答した人は、福岡市で73.3%に対し、名古屋市では46.5%であり、「子育てのしやすさ」は福岡市で53.3%に対し、名古屋市で39.9%となっている。

また、遊びの場所に関する項目では、「芸術・

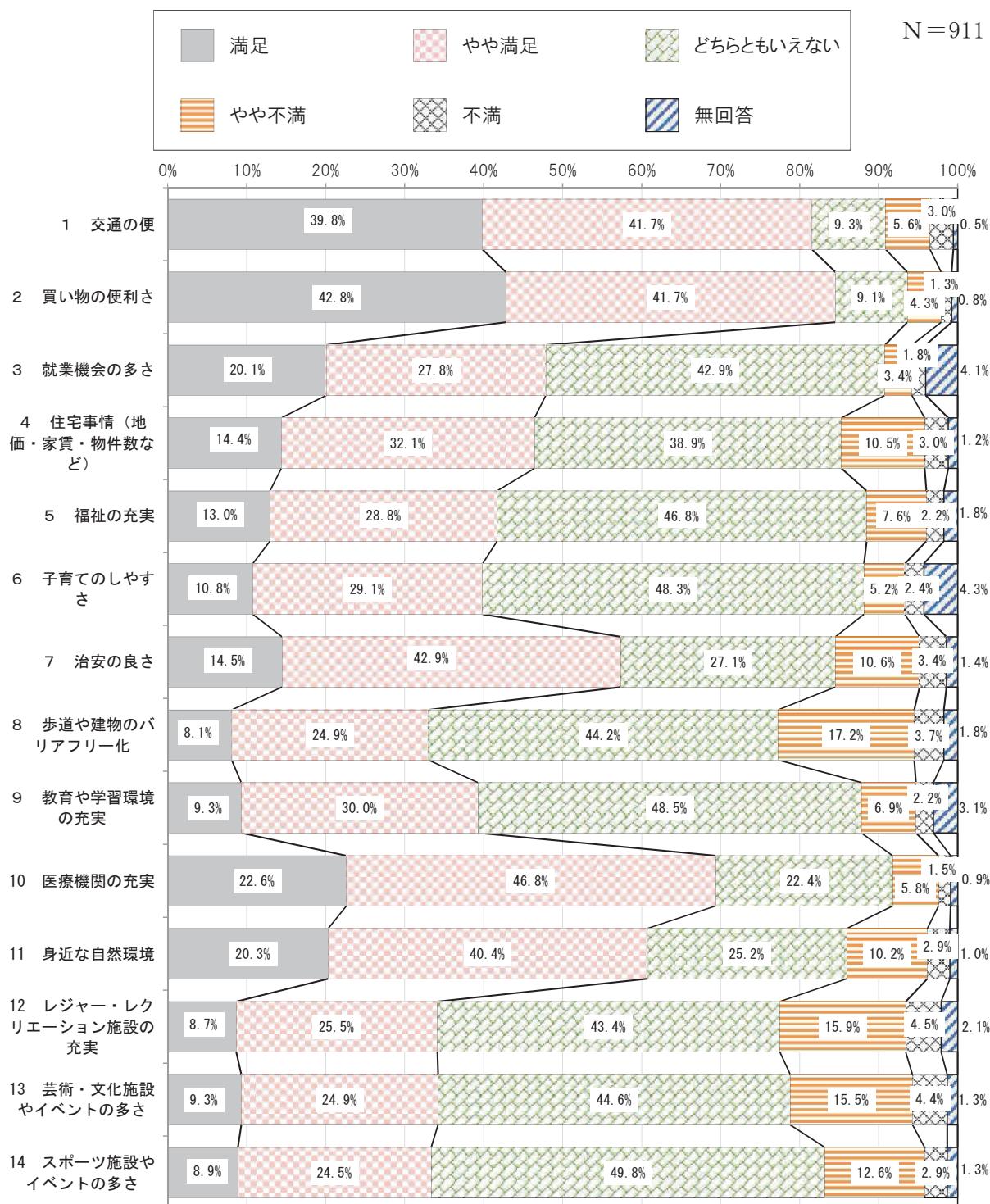
文化水準」では福岡市で65.1%に対し、名古屋市では34.2%であり、「レジャー・レクリエーション施設の充実」では福岡市で55.8%に対し、名古屋市で34.2%となっている。

名古屋市の人団吸引力を回復させるためには、住む場所・遊びの場所としての魅力を高めていく必要があるのではないか。

図表11 福岡市の都市環境などに関する満足度



図表12 名古屋市の居住環境などに関する満足度



(出所) 図表10~12 名古屋市：「令和6年度 第63回市政世論調査」
福岡市：「令和6年度 市政に関する意識調査報告書」

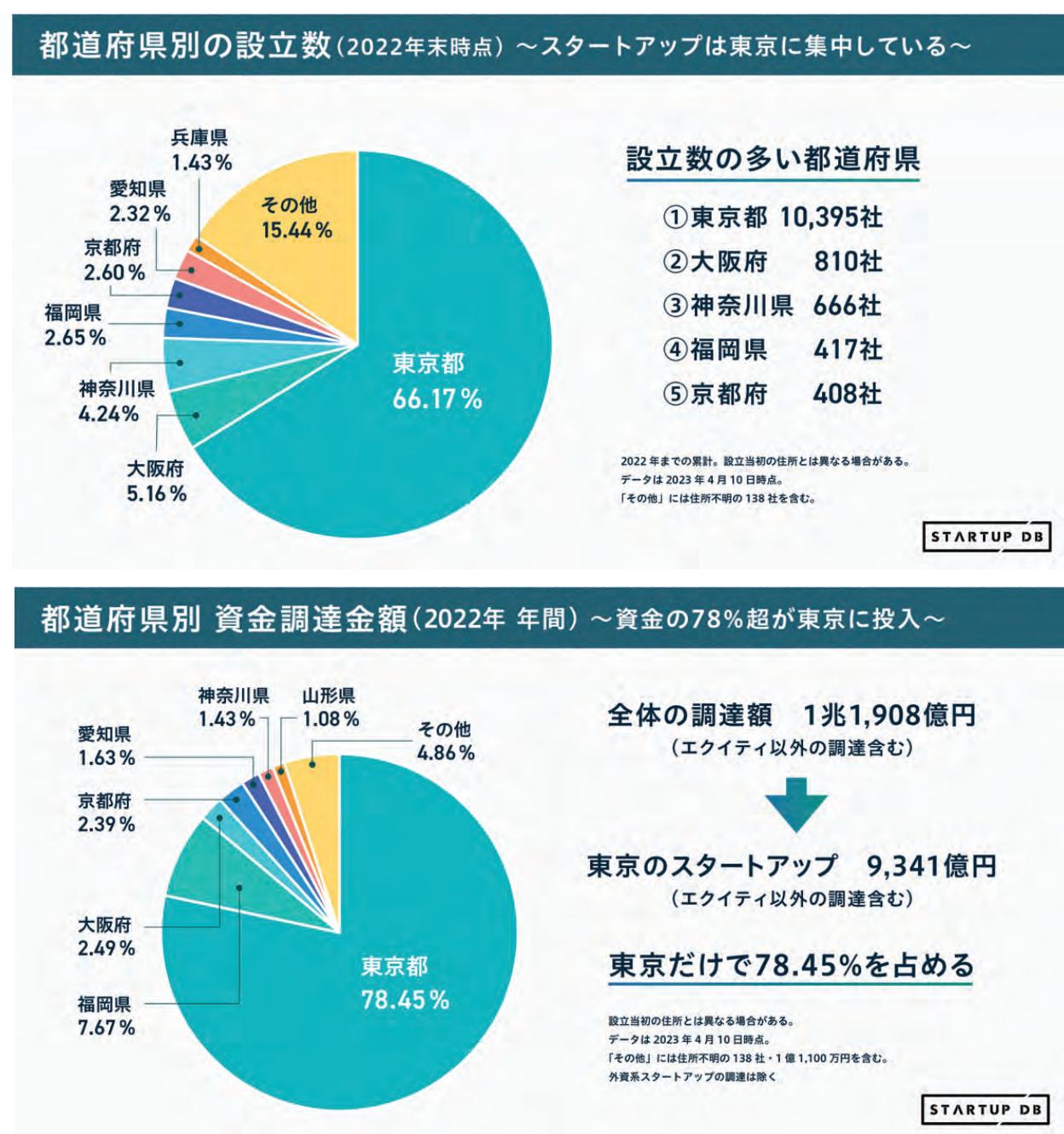
仮説③ スタートアップ拠点・企業立地拠点数の増加

福岡県のスタートアップ企業は、全国の2.65%と愛知県の設立数より多く、人口比で福岡県に優位性があることがわかる。また、資金調達額においても福岡県は東京都に次ぐボリュームで資金調達を行っており、愛知県のスタートアップ企業と比較したときに、企業の成長力の差がうかがえる。福岡県では、新興企業の事業活動が旺盛であると

推察され、多くの若い人にとっても起業のチャンスやスタートアップで働くチャンスが多く、働く場としての魅力が高まっている地域であると言える。

福岡県でスタートアップ企業が活発化している理由の一つとして、国家戦略特区の存在が考えられる。福岡市では、2014年5月に「グローバル創業・雇用創出特区」として認定され、2025年3月7日時点での認定事業数は79事業にのぼる。その後、

図表13 都道府県別 スタートアップ企業の設立数・資金調達金額



(出所) START UP DB:「独自調査「東京以外」が伸びている」

2015年8月には愛知県において『「産業の担い手育成」のための教育・雇用・農業等の総合改革拠点』として指定され、その認定事業数は38事業となっている。

福岡市は特区の規制緩和を活用して、国内外から多様な人材や企業を呼び込める環境を、ハード・ソフトの両面から整えることで、新しい価値の創

出にチャレンジする企業や起業家を支援している。中でも、スタートアップ法人減税は国税の軽減措置にあわせて自治体独自の軽減措置（最大5年間、法人市民税が全額免除）を行う全国初の事例であり、ほかにも外国人の創業基準の緩和や、スタートアップの人材確保支援など、国際競争力のあるビジネス環境づくりが進んでいる。

図表14 国家戦略特区の指定区域



図表15 各区域における認定事業の状況（2025年3月7日）

区域名	規制改革メニュー 活用数	認定事業数
東京圏	44	167事業
関西圏	29	58事業
新潟市	12	23事業
養父市	10	26事業
福岡市・北九州市	30	106事業
沖縄県	10	13事業
仙北市	10	11事業
仙台市	19	24事業
愛知県	28	38事業
広島県・今治市	13	20事業
つくば市	7	9事業
大阪府・大阪市	3	3事業
加賀市・茅野市・吉備中央町	5	5事業
宮城県・熊本県	2	2事業
北海道	4	5事業
全体	78	510事業

(出所) 図表13～14 内閣府：「国家戦略特区 指定区域」

仮説④ 福岡市では都市開発が活発

福岡市の都市開発事業の中には、「天神ビッグバン」や「博多コネクティッド」といった官民連携型の一大プロジェクトが進行している。こうしたプロジェクトでは、老朽化したビル等の建て替えだけに留まらず、都市の持つ多様な個性や豊かさを感じられ、多くの市民や企業から選ばれるまちとなるよう、ハード・ソフト両面でのまちづくりに取り組んでいる。

天神ビッグバンでは、地場のディベロッパーがけん引役となり、狭い範囲で再開発を行うことで、地域全体を巻き込んだ面的な都市開発となり、魅力的なまちづくりを加速させているのではないかと推察される。

名古屋市においては、名古屋駅周辺や、中心地である栄地区の再開発事業が計画されている。今後福岡市と同様に、面的な都市開発による地域活性化の効果に期待が寄せられている。

図表16 福岡市の主な再開発事業（天神ビッグバン）



	建物名	竣工時期	階数	建築主
①	天神ビジネスセンター	2021年9月	地上19階、塔屋2階	福岡地所(株)
②	福岡大名ガーデンシティ	2023年3月	ホテル棟（地上25階・地下1階） コミュニティ棟（地上11階・地下1階） イベントホール（地上1階・地下1階）	大名プロジェクト特定目的会社（積水ハウス(株)、西日本鉄道(株)、西部瓦斯(株)、(株)西日本新聞社、福岡商事(株)）
③	ヒューリックスクエア福岡天神	2024年12月	地上19階、地下3階	ヒューリック(株)
④	ONE FUKUOKA BLDG.	2024年12月	地上19階、地下4階	西日本鉄道(株)
⑤	天神ブリッククロス	2025年4月	北棟／地上18階、地下2階 南棟／地上13階、地下2階	日本生命保険(相)、積水ハウス(株)
⑥	天神住友生命FJビジネスセンター	2025年6月（予定）	地上24階、塔屋2階、地下2階	住友生命保険(相)、福岡地所(株)
⑦	(仮称) 天神1-7計画	2026年12月（予定）	地上21階、地下4階	三菱地所(株)
⑧	(仮称) 天神ビジネスセンター2期計画	2026年6月（予定）	地上18階、塔屋2階、地下2階	天神一丁目761プロジェクト(合)（福岡地所(株)、九州電力(株)、(株)九電工）

（出所）福岡市：「天神ビッグバン」

図表17 名古屋駅前再開発事業

【再開発概要】

共同事業者:名古屋鉄道株式会社、名鉄都市開発株式会社、日本生命保険相互会社、近畿日本鉄道株式会社、近鉄不動産株式会社

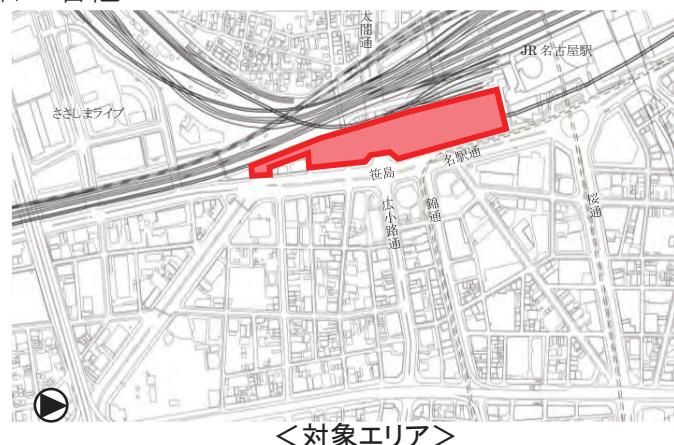
対象地:名古屋市中村区名駅一丁目2番他

敷地面積：約 32,700 m²

延床面積：約 520,000 m²

用 途：商業、オフィス、ホテル、
鉄道駅、バスター・ミナル

投 資 額: 約 5,400 億円
(当社開発事業投資額)



6. 対応の方向性

①女性にとって働きやすい職場が多い。②シビックプライドの度合い（違い）。③起業のチャンスやスタートアップで働く機会が多い。④面的な都市開発が盛ん。福岡市の人囗吸引力の強さの要因を以上4つの仮説で整理してきたが、中部圏の人囗吸引力を回復させるためには、以下の取り組みを強化していくことが重要であると考える。

産業集積に関しては、女性にとって魅力的な職場を創出することが重要であり、製造業のスマート化を進め、中部圏にデジタル産業を呼び込んでいくことが求められる。そのためには、産業界や大学等が、スタートアップをはじめとした他企業との共創を通じたオープンイノベーションを持続的に生み出していくことが重要である。特に、「NAGOYA INNOVATOR'S GARAGE」や2024年10月に開業した「STATION Ai」は、多くの企業にとって魅力的なビジネスチャンスを創出するためのキープレイヤーであると言える。

また、大規模な面的都市開発に向けては、より一層活発に行われることが期待され、福岡市のように、チャレンジしやすいビジネス環境整備や、文化・レジャー施設等の都市開発を官民一体となって進めていくことが求められる。

名古屋駅前では、「スーパー・メガリージョンの交通拠点」、「快適な乗換空間」、「ターミナル駅にふさわしい空間」をコンセプトに、2027年度を目指して利便性や回遊性の向上を目指した再整備計画が進行している。2025年3月には、名古屋鉄道株式会社より名古屋駅前再開発事業計画が公表され、2035年のリニア中央新幹線開業に向け、同社ほか4社が共同で商業施設、ホテル、バスターミナル等を整備していく大規模プロジェクトとなっている。栄地区でも同様に、「栄地区グランドビジョン—さかえ魅力向上方針—」に基づく再開発が進行しており、名古屋—栄を結ぶ新たな路面公共交通システム「SRT (Smart Roadway Transit)」の導入が予定されている。

働く場、遊ぶ場、暮らす場それぞれの魅力をバ

ランスよく高めていくことで、中部圏にシビックプライドが醸成されれば、魅力と活力ある地域社会が形成され、中部圏の人囗吸引力が回復していくことが期待される。

以上